

「これからのスポーツ博物館のあり方について」

シンポジウムの目的

スポーツ文化の発信の拠点となるスポーツ博物館の存在意義や、
わが国におけるスポーツ博物館の設置意義について、理解を促進する。

・開会挨拶：独立行政法人日本スポーツ振興センター 理事長 大東和美
(スポーツミュージアム連携・啓発事業 実行委員会 会長)

・来賓挨拶：文化庁 文化財部長 村田善則 氏

・趣旨説明：秩父宮記念スポーツ博物館 学芸員 井上裕太

1) 基調講演

・筑波大学 体育専門学群長(当事業実行委員会 実行委員) 真田久氏
[スポーツ文化の機能、オリンピック教育とスポーツ博物館との連携の可能性について]

2) シンポジウム

登壇者

・中京大学 スポーツ科学部 教授(当事業実行委員会 実行委員) 来田享子 氏

・公益財団法人日本サッカー協会 日本サッカーミュージアム
コミュニケーション部 参事 小野沢洋 氏

・公益財団法人講道館 図書資料部長 村田直樹 氏

・国立科学博物館 事業推進部 参与 小川義和 氏

モデレーター(司会進行)

・筑波大学 体育専門学群長(当事業実行委員会 実行委員) 真田久氏

3) 特別講演

・九州国立博物館 前館長 三輪嘉六 氏
[スポーツ博物館設置の重要性、博物館連携について]

・閉会挨拶：独立行政法人日本スポーツ振興センター 理事 高谷吉也

期日：平成27年10月10日(土)

入場無料・事前申込不要 開場12:30

会場：東京国際フォーラム G701会議室

内容：開会挨拶 13:00~13:05

来賓挨拶 13:05~13:10

趣旨説明 13:10~13:20

基調講演 13:20~13:50

休憩 <10分>

シンポジウム 14:00~15:20

休憩 <10分>

特別講演 15:30~16:00

閉会挨拶 16:00

司会進行：秩父宮記念スポーツ博物館・図書館 主幹 川崎幸一

主催：スポーツミュージアム連携・啓発事業 実行委員会

お問い合わせ先：スポーツミュージアム連携・啓発実行委員会事務局
〒120-0005 東京都足立区綾瀬6-11-17
(秩父宮記念スポーツ博物館内)
TEL 03-5849-5400 FAX 03-3629-1660

パネリストの紹介



さなだ ひさし
真田 久

1955年12月東京都生まれ。
筑波大学体育専門学群卒。同大学院
体育研究科修了(博士(人間科学))。
筑波大学体育系教授。
2012年より体育専門学群長。
IOC 公認「筑波大学オリンピック教育
プラットフォーム」事務局長。

主な著書：
「19世紀のオリンピック競技祭」
「現代スポーツは嘉納治五郎から
何を学ぶのか」
「日本体育協会・
日本オリンピック委員会100年史」



むらた なおき
村田 直樹

1949年7月埼玉県所沢市生まれ。
東京教育大学体育学部武道学科卒。
同大学院体育学科研究科修士課程修了。
公益財団法人講道館図書資料部長。
日本武道学会理事長。
講道館八段。

主な著書：
「スポーツと身体運動の科学的探求」
「現代柔道論」
「和英対照 柔道一
その心と基本」
「柔道大事典」
「武道を知る」
「和英対照 柔道用語
小辞典」



らいた きょうこ
来田 享子

神戸大学教育学部卒。
同大学院教育学研究科
修士課程修了(教育学修士)。
中京大学大学院体育学研究科博士
課程修了(博士(体育学))。
中京大学スポーツ科学部教授。
日本体育学会常務理事。

主な著書：
「レースは過酷だったのかーアムス
テルダム五輪女子800m走のメディア
報道がつくった「歴史」」
「指標あるいは境界としての性別 - なぜス
ポーツは性を分けて競技するのか」



おがわ よしかず
小川 義和

1982年筑波大学生物学類卒。
東京学芸大学大学院連合博士課程
学校教育学研究科修了(教育学博士)。
国立科学博物館事業推進部参与。
筑波大学客員教授。

主な著書：
「持続可能な社会を創る環境教育論
一次世代リーダー育成に向けて」
「現代の事例に学ぶサイエンスコミュ
ニケーション」
「展示論」
「サイエンスコミュニケーション
科学を伝える5つの技法」



おのざわ ひろし
小野沢 洋

1959年東京都八王子生まれ。
1983年東海大学文学部卒。
公益財団法人日本サッカー協会
日本サッカーミュージアム
コミュニケーション部参事。



みわ かるく
三輪 嘉六

1938年岐阜県生まれ。
奈良国立文化財研究所研究員、
文化庁主任文化財調査官、
東京国立文化財研究所修復技術部長、
文化庁美術工芸課長、同文化財鑑査官、
日本大学教授を歴任。
九州国立博物館前館長。
NPO 法人文化財保存支援機構理事長。

主な著書：
「日本馬具大観 ~ 巻」

秩父宮記念スポーツ博物館巡回展

2020年東京オリンピック・パラリンピックがやってくる

和歌山会場

【会場】

フォルテワジマ3階
(和歌山県和歌山市本町2-1)

【会期】

平成27年9月5日~10月27日
(現在開催中)

【アクセス】

JR和歌山駅または南海和歌山市駅より
和歌山バス本町2丁目バス停下車すぐ。

秩父宮記念スポーツ博物館では、

所蔵の1964年の東京オリンピック資料を中心に、

日本が初めて参加した1912年のストックホルムオリンピックから、
2020年の東京オリンピック・パラリンピックへと続くオリンピック
・パラリンピックの歴史を紹介する巡回展を実施しています。

平成27年度は、和歌山県と宮城県で開催します。

ぜひ、足をお運びください。

宮城会場

【会場】

東北歴史博物館
(宮城県多賀城市高崎1-22-1)

【会期】

平成28年1月23日~3月13日

【アクセス】

JR国府多賀城駅下車すぐ。